

研究成果報告書 (掲載期間 2020.11.1-2021.10.31)

審査学術論文

- (1) 山内昇: Speaking of which の構文化分析再考, 英語語法文法研究, 2020, 27号, 103-118.

学術論文

- (1) 山内昇: ワークショップ「語用論研究におけるコーパス利用の可能性と留意点」(全体趣旨), 日本語用論学会第23回大会発表論文集, 2021, 16, 203-206.
- (2) 山内昇: 字幕翻訳における談話標識の翻訳ストラテジーに関する語用論的研究: speaking of which を事例として, 日本語用論学会第23回大会発表論文集, 2021, 16, 219-222.

学会発表

- (1) 山内昇, 大名力, 新實葉子, 李嘉: ワークショップ「語用論研究におけるコーパス利用の可能性と留意点」, 日本語用論学会第23回大会, 2020年11月28日, オンライン開催.
- (2) 山内昇: 字幕翻訳における談話標識の翻訳ストラテジーに関する語用論的研究: speaking of which を事例として, 日本語用論学会第23回大会, 2020年11月28日, オンライン開催.